

令和8年度小牧市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市においては、水田が市内耕地面積の約6割を占めており、水田農業は本市農業の基盤を成す中心的な分野となっています。このため、戦略作物として加工用米の生産に取り組んでいます。

また、地域振興作物については、水田を活用し、野菜を中心とした生産が行われています。一方で、農業の担い手不足が進行しており、その影響により耕作放棄地が市内各地に点在する状況となっています。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本市は、圃場整備により集積された農地が広く分布し、水稻の作付に適した基盤条件を有しています。この強みを生かし、今後も市場ニーズや需要動向を的確に捉えた米の生産を継続的に展開します。

あわせて、直播栽培の普及を推進することで、作期の分散や省力化による低コスト生産体制の確立を図ります。さらに、スマート農業技術の積極的な導入により、生産性と収益性の高い加工用米をはじめとする転換作物の生産を推進し、持続可能で競争力のある水田農業の強化を目指します。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本市における担い手は、水稻を主軸とした生産に取り組む農業者が多く、加えて大規模な農業経営を行う法人も存在しています。このような状況から、水田としての農地の集積・集約化を進めることで、農業者の生産性向上が図られる基盤が形成されています。

水田の利用状況については、現地確認による圃場確認を実施し、適正な農地利用の把握に努めています。

一方、畑地化の取組については、農地転用につながるおそれがあることから、原則として推進しない方針としています。

また、水田を活用した麦の作付が行われており、その取組が継続されています。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

主食用米については、「売れる米づくり」を基本方針とし、産地奨励品種銘柄である『あいちのかおり』を主力品種として位置付け、産地としての競争力強化を図ります。

あわせて、消費者ニーズに対応するため、減農薬・減化学肥料栽培の推進など、安全・安心な米づくりに取り組み、付加価値の高い生産体制の確立を進めます。

また、地域計画の策定を通じた農地の集約化、乾田直播の導入による作業の分散化や省力化など、低コスト生産の取組を推進します。さらに、種子更新の徹底、栽培日誌の記帳、スマート農業技術の活用により、地域稲作の効率的かつ安定的な運営を図ります。

加えて、乾燥調製施設を活用した集荷体制の構築を進め、作業の効率化と品質の均一化を図り、産地としての供給力の強化につなげます。

(2) 備蓄米 該当なし

(3) 非主食用米 該当なし

- ア 飼料用米 該当なし
- イ 米粉用米 該当なし
- ウ 新市場開拓用米 該当なし
- エ WCS 用稲 該当なし

オ 加工用米 低コスト生産の取組を着実に進めるとともに、主にＪＡあいち経済連を通じた集荷体制のもと、実需者に対する安定的かつ継続的な供給の推進に取り組めます。

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦について、排水対策等の栽培管理の徹底を図り、生産基盤の強化を通じて、品質および収量の安定的な向上を目指します。

(5) そば、なたね 該当なし

(6) 地力増進作物 該当なし

(7) 高収益作物

水田を活用した栽培が可能な野菜については、地域振興作物として位置付け、生産の取組を進めます。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	339.00		328.00		328.00	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米	4.85		4.85		21.60	
麦	2.92		8.00		8.00	
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	0.03		0.80		0.80	
・野菜	0.03		0.80		0.80	
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
・〇〇						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	野菜（別紙のとおり） （基幹作）	高収益作物（野菜）の 取組	取組面積	（令和7年度） 0.028ha	（令和8年度） 0.80ha
2	加工用米（基幹作）	加工用米の取組	取組面積	（令和7年度） 4.84ha	（令和8年度） 4.81ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:愛知県

協議会名:小牧市地域農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取 組 要 件 等 ※4
1	高収益作物(野菜)の取組	1	14,500	野菜(別紙のとおり)(基幹作)	通常の肥培管理を行うこと等
2	加工用米の取組	1	4,000	加工用米(基幹作)	地域の栽培指針に準じた土壌改良資材の施用による土づくりに取り組むこと等

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

○地域振興作物一覧(食用)

作物		単価 (10 ^円 あたり)
食用	野菜	アスパラガス
		いちご
		えだまめ
		エビ芋
		オクラ
		かぶ
		かぼちゃ
		カリフラワー
		かんしょ
		キャベツ
		きゅうり
		グリーンピース
		ごぼう
		こまつな
		さといも
		さやいんげん
		さやえんどう
		しそ
		しゅんぎく
		しょうが
		すいか
		セルリー
		そらまめ
		だいこん
		たまねぎ
		ちんげんさい
		とうもろこし
		トマト
		なす
		にら
		にんじん
		にんにく
		ねぎ
		はくさい
		ばれいしょ
		ピーマン
		ふき
		ブロッコリー
		ほうれんそう
		まこもだけ
		みずな
		みつば
		メロン
		やまのいも
		レタス
		れんこん
		14,500